

平成 31 年度 学校評価報告書（目標設定）

神奈川県立神奈川総合高等学校

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定) (平成 31 年度改定)	1 年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①・教育課程の編成に工夫を凝らし、生徒の学習意欲と学力向上に取り組む。 ・舞台芸術科設置準備を迅速に進める。</p> <p>②国際社会で生き抜く高い人格と心豊かな感性を備えたグローバルリーダーの育成に取り組む。</p>	<p>①・生徒の主体的な科目選択と個性の伸長に資する教育課程を編成する。 ・令和 3 年度学科改編にあたり、普通科と舞台芸術科相互の融和が図られるような教育課程の編成を行う。</p> <p>②・グローバルな問題意識で生徒が学習に取り組めるよう、教科横断的な取り組みを進めて授業改善を行う。 ・グローバル教育研究推進校として効果的なプログラムを検討する。</p>	<p>①・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、本校の特色を活かす教育課程について教科横断的な視点を持って、学校全体で検討を行う。 ・ Semester 制については、学科改編の時期を見据えて、前年の検証結果を活かした効果的な導入を検討する。</p> <p>②・「問い」を立てるといふ問題意識を高めるため「総合的な探究の時間と、各教科の授業の見直しを図り、授業研究を行う。 ・国際交流等について検討し、より良いものに改善する。</p>	<p>①・教科横断的な視点が加わった教育課程が編成できたか。 ・新学科と普通科の融和に考慮した教育課程が編成できたか。 ・ Semester 制導入の検討は進んだか。</p> <p>②・教科横断的な研究授業等の取組みが増えたか。 ・効果的な授業研究会が組織的に実施できたか。 ・国際交流等について効果的な改善ができたか。</p>
2 生徒指導・支援	<p>生徒一人ひとりの個性を伸ばすことができる教育支援を実践し、生徒にしっかり向き合った教育体制の充実を図る。</p>	<p>①・教育相談コーディネーターを中心として、組織的にきめ細かい教育相談体制を整備する。 ・いじめ防止の効果的な啓発活動を行う。</p> <p>②グローバルキャンプやワールドカフェ等の国際的な行事の内容を見直し、生徒の主体的な学びに結びつくように改善を図る。</p>	<p>①・年に 2 回専門家による研修講座を行う。 ・月に一度、教育相談コア会議を開催し、さらに、ケース会議を通じて、情報を職員全体で共有する。 ・ SNS によるいじめ防止のための啓発活動を行う。 ・年に 2 回のアンケートを効果的にフィードバックする。</p> <p>②行事の運営が生徒を中心としたものとなるよう事前準備、事後学習の在り方を検討していく。</p>	<p>①・専門家による研修会を年 2 回以上実施できたか。 ・月に一度のコア会議と必要なケース会議は開催したか。 ・いじめ防止の啓発活動を行えたか。 ・アンケートは効果的にフィードバックできたか。</p> <p>②グローバルキャンプの運営を生徒中心で進めることができる支援ができたか。</p>
3 進路指導・支援	<p>入学から卒業までの体系化した進路支援の流れを作り、生徒が自らの将来像を見据えて適切な時期に目標を定められるよう情報提供を行い、多様で主体的な進路選択を促進する。</p>	<p>①自己目標を適切な時期に定められるよう働きかける。</p> <p>②指導方法を蓄積し一人ひとりに合った進路設計を支援する。</p>	<p>①年間を通して各活動により得られた能力を自覚させ、自己発見に繋げる。</p> <p>②・ガイダンスルームの自習環境を整える。 ・進路情報を整理した上で生徒に情報を周知し、生徒のガイダンスルームへの来室頻度を高める。</p>	<p>①生徒が、適切な時期に自己目標を定めることができたか。 ・自習環境を整えられたか。</p> <p>②・生徒の来室頻度を高めることができたか。</p>
4 地域等との協働	<p>家庭や地域社会の教育力の活用を推進し協働することで信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>①地域と共にある学校づくりをすすめる。</p> <p>②連携大学や高校、生涯学習の制度を積極的に活用し、交流を深める。</p>	<p>①・隣接する小学校や高校及び特別支援学校と連携した活動を行う。 ・学校行事や防災活動を通じて神奈川区近隣住民との連携を図る。 ・パートナーズ（PTA）や同窓会と連携を図る。</p> <p>②単位互換制度等の各種制度の活用促進に努める。また、連携大学等との交流の中で今後の高大接続改革の情報収集に努める。</p>	<p>①・各学校との連携が図れたか。 ・防災活動を適切に行い、地域住民との交流により理解が深められたか。 ・パートナーズ（PTA）や同窓会と効果的に連携を行えたか。</p> <p>②各種制度、情報等を生徒に提供できたか、また、職員間で共有することができたか。</p>
5 学校管理 学校運営	<p>社会の変化に対応し、意欲的に教育の課題に取り組む学校体制の充実を図る。</p>	<p>①教育を取り巻く現代的な課題や情報を共有する。</p> <p>②プロジェクト等の課題を職員で共有し、迅速に課題の検討を行い、実践する。</p>	<p>①校外の情報収集に努め、復命研修を行う。</p> <p>②・プロジェクトの情報提供、意見交換を活性化させる。 ・教育活動をスクラップアンドビルドの視点で整理する。</p>	<p>①校外の情報収集に努め、復命研修を行ったか。</p> <p>②・プロジェクトの情報提供、意見交換を活性化したか。 ・教育活動をスクラップアンドビルドの視点で整理したか。</p>